

【 エピソード記録 No. 16 (すみれ組) 夏の野菜のお世話 】

夏野菜のお世話を引き続き、頑張っています。初めは、水をたくさんあげたがっていた子ども達でしたが、梅雨時期に入り（雨の水がかかっている時）は、水をあげなくていいことに気づいたり、太陽の光が必要なことも感じてきたようです。きゅうり・オクラ・なすの葉っぱや花の色の違いに気づいたり、毎日少しずつ大きくなる様子を心待ちに観察しています。

水やりや観察をする時には、「次、僕ね。」「貸してね。」「順番だよ！」の言葉も聞かれるようになり、自然と順番や貸し借りを覚え、やりとりを学んでいく姿も見られるようになってきました。

13日（月）に、第1号のなすの赤ちゃんが実りました。「先生、見てみて!」「なすの赤ちゃん。」「やった!」など、喜んでハイタッチする子も見られ、とても微笑ましく思っています。

お水飲んでね〜♪  
水をあげると、  
土が黒くなったね!



きゅうり



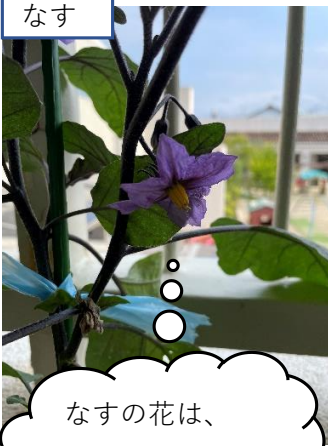
きゅうりは、  
黄色の  
お花なの?

オクラ

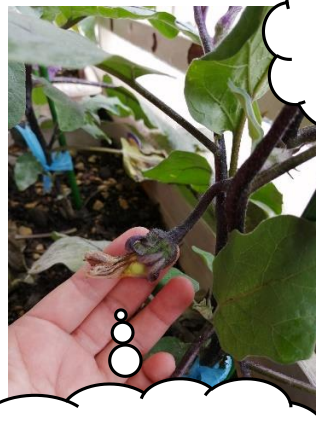


葉っぱがおおきくなってよ!  
チクチクするね。

なす

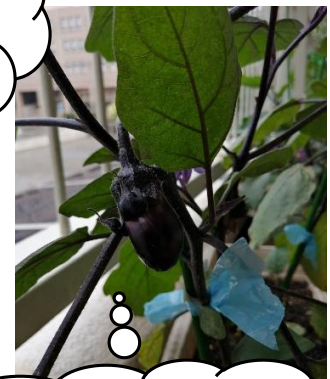


なすの花は、  
紫色だね!



なすの花が  
しぼんじゃった。

元気がない。  
大丈夫  
かな...



なすの実ができた!  
赤ちゃんだ♪

<先生から一言>

毎日の野菜の観察やお世話を一生懸命する姿が見られ、野菜への愛着を感じている姿が見られ、とても嬉しく思っています。野菜の花や実だけでなく、葉っぱの大きさやチクチク・ザラザラなど肌触りの違いにも気づいて触れている姿も見られ、子どもたちの観察力に驚かされました。

きゅうりは、支柱よりもぐんぐん高くなり、テラスまで伸びて子どもたちの背丈よりも大きくなっています。なすも花や実のなる様子が見られ、子どもたちも大喜びです。その反面、オクラは背丈も小さく、少し元気がない様子で心配していました。子どもたちと元気になる方法を話し合いながら、少し土を足して根が支えられるようにしたり、肥料を加えたりしました。子どもたちと成長を見守っていきたいと思います。